

地域が一体となったニホンザル対策の取組推進

＜R7.6月補正予算要求額 15,000千円＞
【清流の国ぎふ森林・環境基金事業】

1 背景・事業目的

野生鳥獣による被害のない里山づくりに向け、ニホンザル対策については、優れた政策を県民等から募集し、県がその活動費を支援する「政策オリンピック」の手法を用い、実施を進めている。

多くの提案をいただいた結果を踏まえ、既存の選考枠以外の有効な対策と見込まれる活動に対し、追加で支援を実施する。

2 事業概要

ニホンザル対策の取組推進（15,000千円）

ニホンザルによる農作物被害に有効な防止対策を実践する団体等に対して、活動費を支援する。

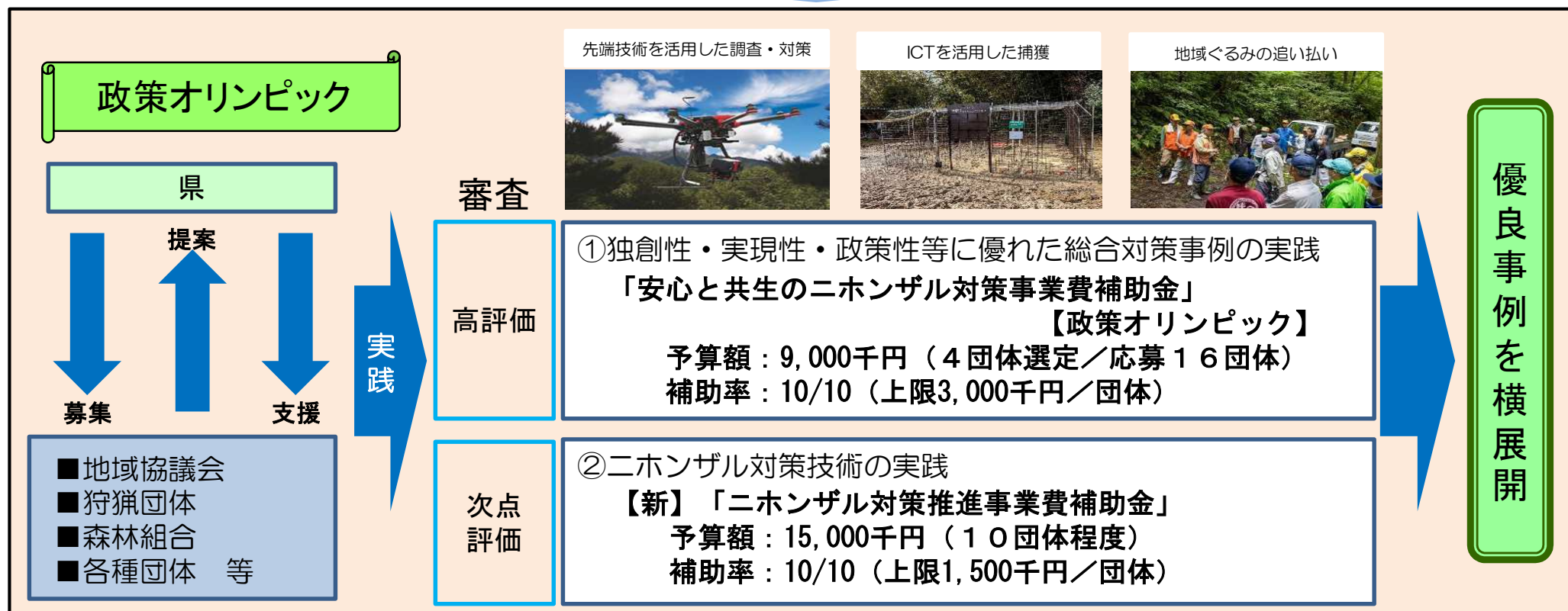
〔 補助対象者：地域協議会*、自治会、猟友会、森林組合など
補助率等：定額（上限 1,500 千円／団体等） 〕

※市町村、JA、狩猟者団体、集落の代表者等で構成される地域組織

ニホンザル対策のモデル構築 ～清流の国ぎふ森林・環境基金事業～

農村を取り巻く現状

- ・農村地域では高齢化や人口減少が進行し獣害対策に必要な人手や資金が不足。
- ・耕作放棄地の増加によりサルの生息域が拡大。
- ・電気柵などの従来の対策では学習能力の高いサルには効果が低い。
- ・個々の農家が独自に対策を講じても限界があり、地域全体での連携が重要。



安心して暮らすことのできる農村集落環境の復活